



独立行政法人福祉医療機構

WAMは福祉と医療の民間活動を応援します

Press Release No. 31

令和7年12月17日
独立行政法人福祉医療機構
経営サポートセンター佐野 伸
経営サポートセンター コンサルティンググループ
グループリーダー 三誠 慎二郎
担当 前田 (電話) 03-3438-0236
(FAX) 03-3438-0371

2024年度（令和6年度）決算

老人デイサービス（通所介護・認知症対応型通所介護）の経営分析参考指標の概要について

独立行政法人福祉医療機構では、福祉医療貸付事業の債権管理の一環として、毎年度、融資先からご提出いただけ財務諸表等を基に、社会福祉法人や医療法人、福祉・医療施設等の経営状況について経営分析参考指標として集計・分析しています。

このたびは、2024年度（令和6年度）決算に基づく老人デイサービス（通所介護・認知症対応型通所介護）の経営分析参考指標の概要について、公表いたします。

＜経営分析参考指標＞ <https://www.wam.go.jp/hp/keiei-index/>

1. 調査の概要

- | | |
|-------|---------------------------------|
| ■調査時点 | 毎年1回（決算データ） |
| ■集計施設 | 通所介護（5,976施設）、認知症対応型通所介護（502施設） |
| ■調査目的 | 機構融資先の債権管理の一環 |

※経営分析参考指標（2024年度決算分）（有料）の頒布については、現在予約申込受付中です。

2. 2024年度決算の概要

＜通所介護＞

- 通所介護全体の利用率は70.7%で、前年度より1.1ポイント上昇した。
- 利用者1人1日当たりサービス活動収益は9,531円で、前年度より56円上昇した。
- サービス活動収益対サービス活動増減差額比率は2.2%で、前年度より0.2ポイント低下し、赤字施設（経常増減差額が0未満）の割合は44.8%で、前年度より1.0ポイント上昇した。
- 事業形態別のサービス活動収益対サービス活動増減差額比率は、地域密着型3.5%（前年度比0.5ポイント上昇）、通常規模型1.1%（前年度比0.3ポイント低下）、大規模型（I）5.9%（前年度比1.2ポイント低下）、大規模型（II）6.2%（前年度比0.7ポイント低下）であった。

＜認知症対応型通所介護＞

- 利用率は65.5%で、前年度より2.2ポイント上昇した。
- 利用者1人1日当たりサービス活動収益は13,816円で、前年度より410円上昇した。
- 利用者10人当たり従事者数は8.21人で、前年度より0.40人減少した。
- 赤字施設（経常増減差額が0未満）の割合は35.9%で、前年度より2.5ポイント低下した。

以上